

経営支援員と二人三脚



55人の経営支援員は地域の小規模・中小企業の経営改善と持続的発展に向け、支援を行っています。経営者とのコミュニケーションをしっかりと取りながら、課題の解決とさらなる発展に向けた支援活動を展開中。

補助金の積極活用で技術の幅を広げる

市場ニーズに応じて最新設備を導入

創業当初は、職人の手による汎用フライス加工を中心に手がけていましたが、より精密に、よりスピーディーに…というお客様の要望に応えて、今から4年前、京商の支援で補助金を活用し、コンピュータ制御で多様な加工を行うマシニングセンターを購入。プログラム化された正確なものづくりで、小ロットから量産品まで幅広い注文に短納期で対応できるようになりました。

昨年度は、新たな補助金の活用で3D 測定器を導入しました。加工の誤差を1/1000ミリまで緻密に測定したものを納品することで、お客様の信頼を得ることにつながっています。また「経営力向上計画」の認定にもチャレンジし、税制優遇をうけることができました。

品質管理に関するニーズがますます高まる中、価格だけではない目に見える付加価値を提供して、受注拡大を目指したいと思います。

会社の未来を担う若い人材を育成

今、職人の高齢化が進んでいますが、最先端の設備や機械を導入することによって、経験のない人でも働いてもらいやすくなり、新たに若い人材を雇用することができました。給与体系や就業規則を見直したいと考え、京商の専門相談を訪ねたところ、労務管理について専門家からアドバイスをいただき、たいへん参考になりました。私たちの悩みごとや困りごとに寄り添って、支援員が的確な支援を提供してくれるのが京商の魅力だとおもいます。

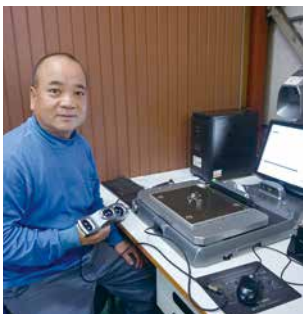
資本金が必ずしも十分でない中小企業にとって、大きなコストが必要な設備投資はリスクが伴うものですが、補助金制度をうまく活用することで、少ない負担で当社の強みを磨くことができました。今後もオンラインの精密加工を追及していくと共に、これまで培ってきた技術を生かして、他社にないオリジナル商品を開発するなど、京商と一緒にさらにステップアップしていきたいですね。

次の目標として、自社工場の新設を目指したいですね。従業員のモチベーションを高めるとともに、作業するスペースを拡大することで、お客様のニーズに応じて新たな加工設備や機械を導入し、私たちが提供できる価値をもっと高めていきたいと考えています。



代表の阪田 康夫さん

企業概要



半導体製造装置用部品を中心に、マシニングセンターによる精密加工からフライス加工まで、幅広い要望に対応している。最先端の機器を積極的に導入し、適切なコスト管理に加え、高品質、短納期による対応で、お客様の信頼を獲得。今後は、自社技術をさらに磨き上げると共に、オリジナル商品の開発などで下請け以外の仕事もすすめている。

株式会社阪田製作所

代表者／阪田 康夫

住 所／京都市伏見区淀樋爪町441

T E L ／ 075-632-0505 U R L ／ <http://www.sakata-ss.jp/>